



青少年のための科学の祭典

<http://www.gsj.jp/Info/event/2001/hita2002/hita2002.html>

子供達に科学の面白さや、興味を持ってもらうことを目的とした、(財)日本科学技術振興財団主催による「青少年のための科学の祭典・茨城大会」が2月9日(土)、茨城県日立市日立新都市広場マープルホールで開催されました。地質調査総合

センターからは体験イベント「化石レプリカをつくろう」を展覧しました。アンモナイト化石の実物を油粘土で型取りしてそれに石膏を流し込むレプリカ作り(レプリカは記念品として持ち帰る)は、子供達に大変好評でした。この祭典への出展は全



部で31ブース、参加者総数は3,264人でした。



第6回「震災対策技術展」

<http://www.gsj.jp/Info/event/2001/sinsai2002/sinsai.html>

第6回「震災対策技術展」が、2月14日～15日神戸市ポートアイランドで開催されました。地質調査総合センターからは、最近行った大阪湾断層の活動性調査ならびに鳥取県西部地震に見る震源近傍強震動の研究レポートを、先頃出版された「花折

断層ストリップマップ」とともにポスター展示し、関連のパンフレットの配布を行いました。

このイベントは年々震災対策技術関連の見本市的な色合いが濃くなってきていますが、それだけに産業界・自治体関係者の来場は増加して



います。大震災を経験した土地柄だけに、来場者の震災対策への関心は非常に高く、連日大盛況でした。



知っていますか? あなたの町の地質

— 近畿の地質図展 —

<http://www.gsj.jp/Info/event/2001/osaka2002/index.html>

2月16日～17日の2日間、大阪市立自然史博物館において「近畿の地質図展」が同博物館と地質調査総合センターの共催で開催されました。

会場の床一面には近畿地方の巨大な地質図(5万分の1地質図を編集・拡大)を広げ、来場者はその上に立って自分の家を探し、それをきっかけに説明者の案内で展示された活構造図等の説明を聞いていました。

また、併設された、アンモナイト化石のレプリカ作り、鳴り砂、ペットボトルを使った地盤の液化化実験の3つの体験学習コーナーは、多くの子ども達で賑わい、中には真剣な手付きで石こうを型に流し込む大人の姿も見られました。

今回、特に感じたことは、来場者が本気で地質について考えているということです。その背景には、阪神



淡路大震災(1995年)があることは間違いありません。身近なところから自分の足下の地質に興味を持っていただくためには、近畿地方の拡大地質図は大変効果があったようです。



「パロ」癒し効果世界一とギネスが認定

http://www.aist.go.jp/aist_j/topics/to20020315/to20020315.html

知能システム研究部門人間共存システム研究グループの柴田主任研究員らが開発したメンタルコミットメントロボット「パロ」が「世界で最もセラピー効果のあるロボット」としてギネス世界記録に認定されました。

パロは、人間共存型ロボットとして、人の心に与える楽しみや安らぎ

などの精神的な影響を研究するために開発されました。アザラシ型の外観はもちろん、まるで本当に生きているかのような動作をします。これまでに、パロを筑波大付属病院の小児病棟や高齢者向け施設等に導入し、人間に与える癒し効果(ロボットセラピー)を実証しています。

